## T/1K/1D/1

株式会社 高田工業所 (証券コード: 1966)

令和8年3月期第2四半期(中間

決算説明資料

2025.11.6

#### 株式会社 高田工業所

〒806-8567 福岡県北九州市八幡西区築地町1番1号 https://www.takada.co.jp/

# 目次

- **01** 令和8年3月期第2四半期(中間期)決算概要
- 02 令和8年3月期 業績予想
- **03** appendix



当中間期 業績/連結

前期比【減収減益】※

※親会社株主に帰属する中間純利益

■売上高…… 国内化学プラントの定期修理工事が閑散期となり、工事量減少により減収

■損 益…… 売上高の減収に伴い利益においても減益

#### 【連 結】

(単位:百万円、率は対前年中間期増減率・%)

	前期	当期			前期 (b) - (	
	実績 (a)	期初予想 (R7.5.13)	修正予想 (R7.10.30)	実績(b)	金額	増減率
売 上 高	28,132	27,800	25,350	25,359	△2,772	△9.9
営 業 利 益	1,645	830	250	254	△1,391	△84.6
経常利益	1,621	750	190	194	△1,426	△88.0
親会社株主に帰属する中間純利益	1 1146	430	140	140	△955	△87.1
包括利益	1,114	_	_	226	△888	△79.7
1株当たり中間純利益	左 173.04円	58.63円	19.25円	19.25円	△153.79円	△88.8

2期ぶりの減収 4期ぶりの減益 4期ぶりの減益

2 期連続の減益

**■ 当中間期 業績/個別 前期比<u>【減収減益】</u>** 

【個別】

(単位:百万円、率は対前年中間期増減率・%)

	前期	当期			前期」 (b) - (	
	実績 (a)	期初予想 (R7.5.13)	修正予想 (R7.10.31)	実績(b)	金額	増減率
売 上 高	23,303	23,000	22,040	22,046	△1,256	△5.4
営 業 利 益	1,561	800	290	295	△1,266	△81.1
経 常 利 益	1,697	900	390	390	△1,306	△77.0
中間純利益	1,208	620	310	311	△896	△74.2
1株当たり中間純利益	190.73円	84.54円	42.33円	42.54円	△148.19円	△77.6

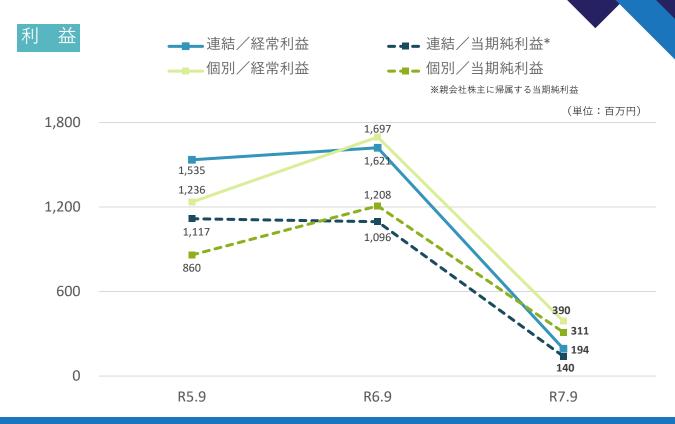
3 期連続の減収 4 期ぶりの減益 4 期ぶりの減益 4 期ぶりの減益

■ 売上高 業績推移(過去3か年)

#### 売上高



■ 利益 業績推移(過去3か年)

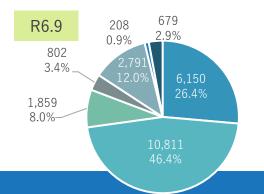


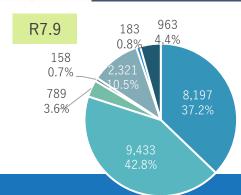
#### ■ 売上高 工事種別(個別) 前期比

	R6.9		R7.9	
	金額	構成比	金額	構成比
製鉄プラント	6,150	26.4	8,197	37.2
化学プラント	10,811	46.4	9,433	42.8
石油・天然ガスプラント	1,859	8.0	789	3.6
電力設備	802	3.4	158	0.7
エレクトロニクス関連設備・装置	2,791	12.0	2,321	10.5
社会インフラ設備	208	0.9	183	0.8
そ の 他	679	2.9	963	4.4
合 計	23,303	100.0	22,046	100.0

(単位	百	万	円)	)

増減(R7.9-6.9)					
金額	増減率				
2,047	33.3				
△ 1,378	△ 12.7				
△ 1,069	△ 57.5				
△ 643	△ 80.2				
△ 469	△ 16.8				
△ 25	△ 12.2				
283	41.7				
<b>△ 1,256</b>	△ 5.4				

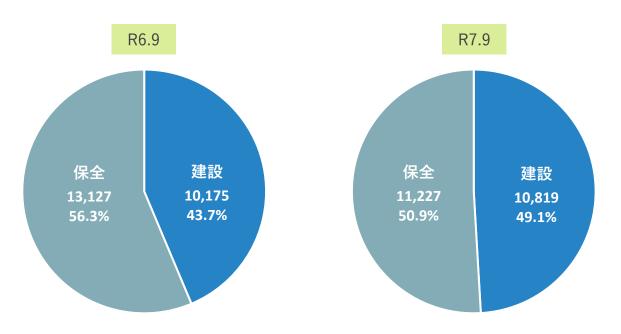




- ■製鉄プラント
- ■化学プラント
- ■石油・天然ガスプラント
- ■電力設備
- エレクトロニクス関連設備・装置
- ■社会インフラ設備
- ■その他

■ 売上高 プラント建設・保全別(個別) 前期比

(単位:百万円)

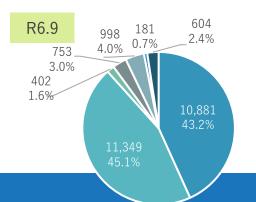


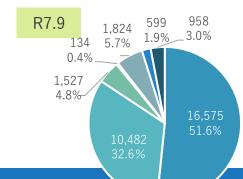
#### ■ 受注高 工事種別(個別) 前期比

	R6.9		R7.9	
	金額	構成比	金額	構成比
製鉄プラント	10,881	43.2	16,575	51.6
化学プラント	11,349	45.1	10,482	32.6
石油・天然ガスプラント	402	1.6	1,527	4.8
電力設備	753	3.0	134	0.4
エレクトロニクス関連設備・装置	998	4.0	1,824	5.7
社会インフラ設備	181	0.7	599	1.9
その他	604	2.4	958	3.0
合 計	25,170	100.0	32,103	100.0

(単位:百万円)

増減(R7.9-6.9)					
金額	増減率				
5,694	52.3				
△ 867	△ 7.6				
1,125	279.8				
△ 618	△ 82.1				
826	82.8				
417	229.7				
354	58.6				
6,932	27.5				





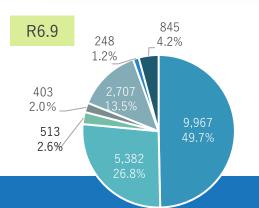
- ■製鉄プラント
- ■化学プラント
- ■石油・天然ガスプラント
- ■電力設備
- エレクトロニクス関連設備・装置
- ■社会インフラ設備
- ●その他

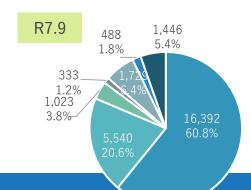
#### ■ 受注残高 工事種別(個別) 前期比

	R6.9		R7.9	
	金額	構成比	金額	構成比
製鉄プラント	9,967	49.7	16,392	60.8
化学プラント	5,382	26.8	5,540	20.6
石油・天然ガスプラント	513	2.6	1,023	3.8
電 力 設 備	403	2.0	333	1.2
エレクトロニクス関連設備・装置	2,707	13.5	1,729	6.4
社会インフラ設備	248	1.2	488	1.8
その他	845	4.2	1,446	5.4
合 計	20,067	100.0	26,953	100.0

(単位	X	百	万	円	)
(T-1==		-			

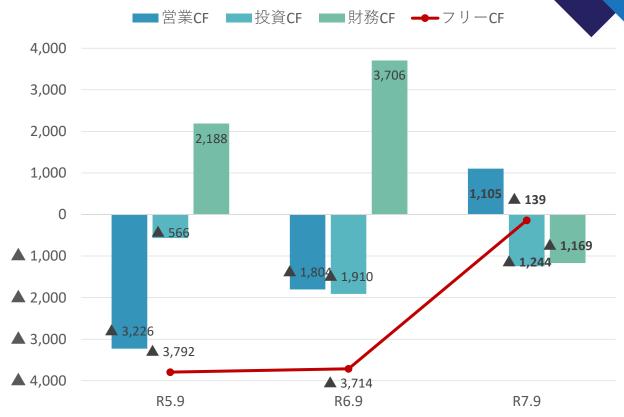
増減(R7.9-6.9)						
金額	増減率					
6,425	64.5					
157	2.9					
510	99.5					
△ 70	△ 17.5					
△ 977	△ 36.1					
240	97.0					
600	71.1					
6,886	34.3					





- ■製鉄プラント
- ■化学プラント
- ■石油・天然ガスプラント
- ■電力設備
- エレクトロニクス関連設備・装置
- ■社会インフラ設備
- ■その他

■ キャッシュフロー(過去3か年)





# 2.令和8年3月期 業績予想

#### 2. 令和8年3月期 業績予想

- 業績予想/連結 前期比【減収減益】
  - ■売上高…… 化学プラントの定期修理工事の閑散期であることから減収を予想
  - ■損 益…… 売上高の減少に伴い、減益を予想

#### 【連 結】

(単位:百万円、率は対前期増減率・率)

	R7.3	R8.3	前期比 (b) - (a		
	実 績 (a)	予 想 (b)	金額	増減率	
売 上 高	58,067	56,400	△1,667	△2.9	2期ぶりの減収
営 業 利 益	2,933	2,240	△693	△23.6	2期ぶりの減益
経常利益	2,877	2,060	△817	△28.4	2期ぶりの減益
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,309	1,420	△ 889	△38.5	4期ぶりの減益
1株当たり当期4利益	362.01円	193.63円	_	_	

※令和 8 年3月期の通期業績予想につきましては、令和7年5月13日付の「令和7年3月期決算短信」で公表いたしました当初の連結業績予想から修正しておりません。

#### 2. 令和8年3月期 業績予想

■ 業績予想/個別 前期比【減収減益】

【個 別】

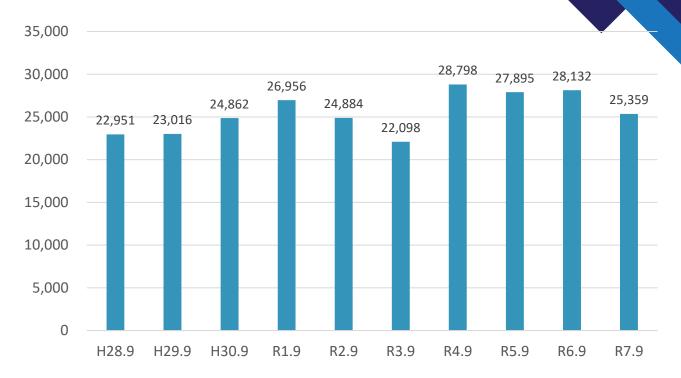
(単位:百万円、率は対前期増減率・率)

	R7.3	R8.3	- (D) ()		
	実 績 (a)	予 想 (b)	金額	増減率	
売 上 高	48,634	47,000	△1,634	△3.4	2期ぶりの減収
営 業 利 益	2,729	1,980	△749	△27.5	2期ぶりの減益
経 常 利 益	2,735	2,000	△735	△26.9	2期ぶりの減益
当期純利益	2,223	1,440	△783	△35.2	2期ぶりの減益
1株当たり当期純利益	348.67円	196.35円	_	_	

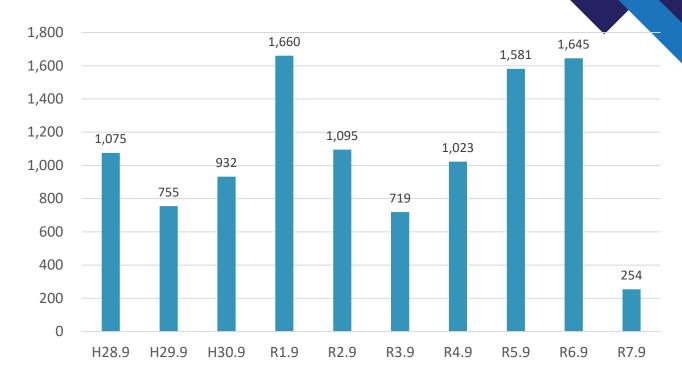
※令和 8 年3月期の通期業績予想につきましては、令和7年5月13日付の「令和7年3月期決算短信」で公表いたしました当初の個別業績予想から修正しておりません。



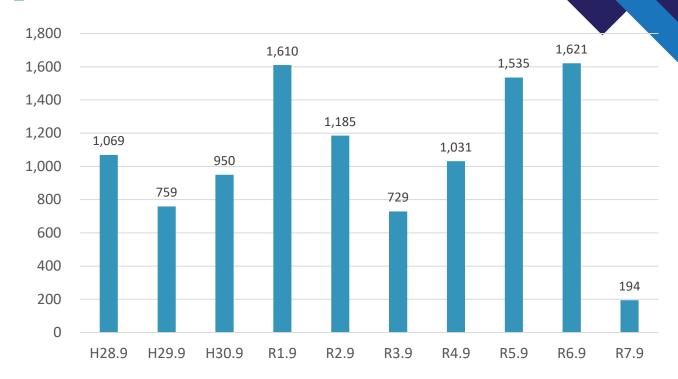
#### **■ 売上高推移(連結/H28.9~R7.9)**



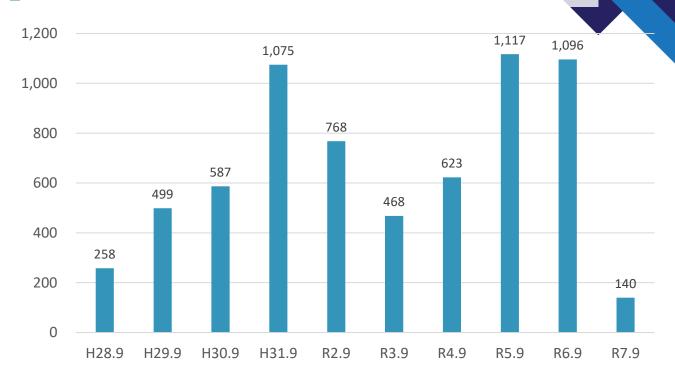
#### ■ 営業利益推移(連結/H28.9~R7.9)



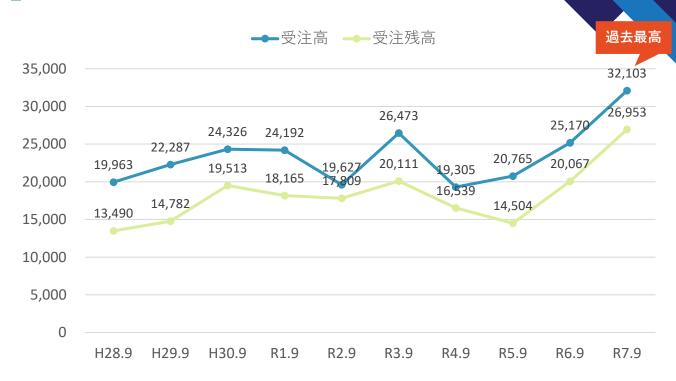
#### ■ 経常利益推移(連結/H28.9~R7.9)



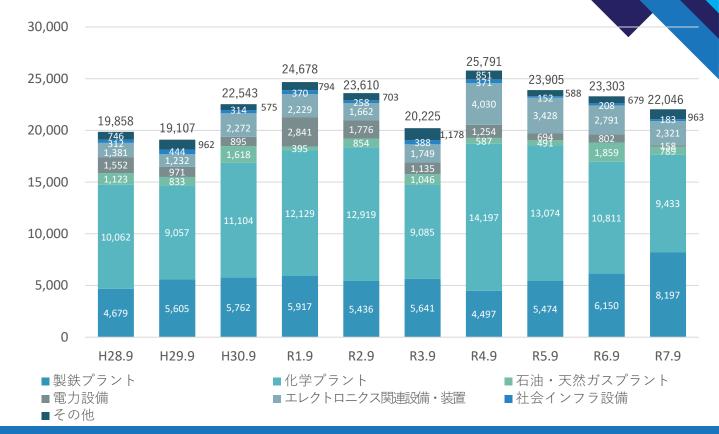
#### ■ 親会社株主に帰属する中間期純利益の推移(連結/H28.9~R7.9)



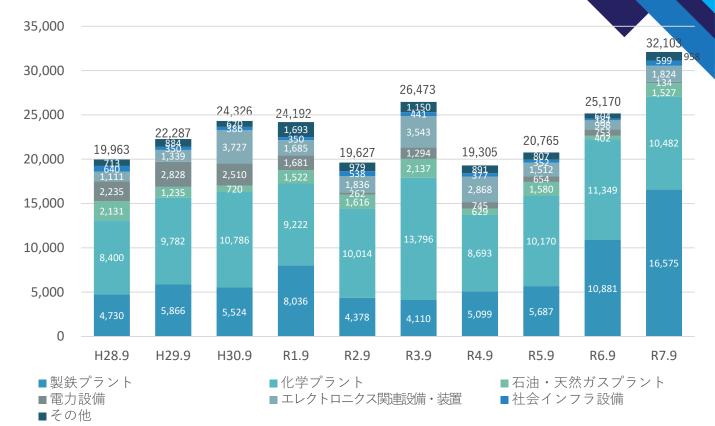
#### ■ 受注高と受注残高の推移(個別/H28.9~R7.9)



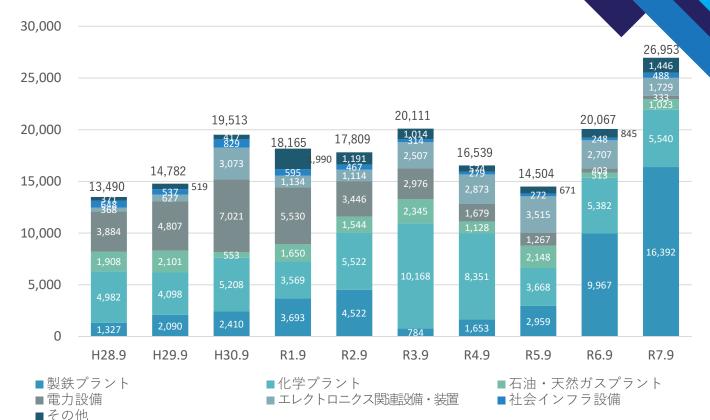
#### ■ 売上高 工事種別の推移(個別/H28.9~R7.9)



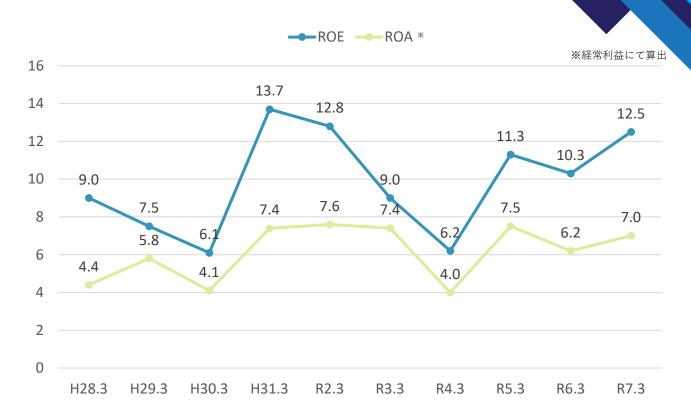
#### ■ 受注高 工事種別の推移(個別/H28.9~R7.9)



#### ■ 受注残高 工事種別の推移(個別/H28.9~R7.9)



#### ■ ROE・ROAの推移(連結/H28.3~R7.3)



■ "設備技術産業の雄"への挑戦 ~電流情報量診断 新ラインナップ発売へ

昨年公表した「中長期の展望」において「成長領域」として捉えております 設備診断事業の核となるシステム「電流情報量診断システム(T-MCMA®)」の新デバイス 「TM-EDGEWARE」を2026年1月にリリースいたします。

T-MCMA®は回転機械の状態をモータ駆動電流で診断・解析可能であり、機器状態に応じた予知保全で人材不足の解消にも繋がるシステムです。今般、更にユーザーのニーズにお応えすべく、通信不要で現場で解析・診断が可能となる「TM-EDGEWARE」を開発いたしました。 今後も設備診断技術の販路拡大に努めてまいります。





#### ■ 新しい事業領域への挑戦 ~外部団体との連携による新規事業開発の加速

今般、北九州市内の企業・行政が抱える事業・経営課題や既存事業領域以外の新しいチャレンジ等を集約・公開する共創プロジェクト「北九州イノベーションゲート」に参画いたしました。 当プロジェクトは、全国のスタートアップ企業等とマッチングすることで、共に課題解決・事業 創出を目指すものです。

当社は「新しい時代に適合した、新しい価値を生み出す事業創出の実現」を推進すべく、当プロジェクトを活用し、「脱炭素社会と循環型経済の実現」および「当社アセットを活用した新規事業」を共創することを目指してまいります。





CLICK D

詳細は、北九州イノベーションゲート2025のホームページをご覧ください。 北九州イノベーションゲート2025 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に 基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。 また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

